

8	(地独) 東京都健康長寿医療センター	地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター 年度計画の実施 (令和4年度)
事業概要	<p>平成30年度から令和4年度までの5年間の計画期間とする中期計画を達成するため、令和4年度において取り組むべき事項を年度計画として定め、高齢者のための高度専門医療及び研究の充実・発展並びに経営基盤の改善について着実に実施する。</p> <p>また、令和5年度から始まる第四期中期計画期間における計画策定に向けた準備を行う。</p>	
これまでの経過	<p>平成21年4月：法人を設立し地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター中期計画に基づいた業務運営を開始</p> <p>平成30年3月：地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター第三期中期計画認可決定</p> <p>平成30年6月：第二期中期目標期間（平成25～29年度）業務実績等報告書及び平成29年度財務諸表及び業務実績等報告書を都へ提出</p> <p>平成31年3月：令和元年度計画を都へ提出</p> <p>令和元年6月：平成30年度財務諸表及び業務実績報告書を都へ提出</p> <p>令和2年3月：令和2年度計画を都へ提出</p> <p>令和2年6月：令和元年度財務諸表及び業務実績報告書を都へ提出</p> <p>令和3年3月：令和3年度計画を都へ提出</p> <p>令和3年6月：令和2年度財務諸表及び業務実績報告書を都へ提出</p> <p>令和4年3月：令和4年度計画を都へ提出</p> <p>令和4年6月：令和3年度財務諸表及び業務実績報告書並びに第三期中期目標期間業務実績（見込み）報告書を都へ提出</p>	
現在の進行状況	<p><b>【センター全体】</b></p> <p>令和4年4月～令和4年9月：新型コロナウイルス感染症への対策として、陽性患者の受入、医療従事者・住民等へのワクチン接種の実施、都が実施する宿泊施設活用事業への看護師派遣等を実施</p> <p>令和4年9月：病院部門、研究部門、経営部門それぞれが実施する研修・実習を一元的に管理するとともに、対外的な発信力を強化するなど、研修・実習に関する“司令塔機能”を担う新たな組織として、「健康長寿医療研修センター」を立ち上げた</p> <p><b>【病院部門】</b></p> <p>令和4年4月～令和4年9月：平均在院日数11.9日、病床稼働率70.9%で推移（前年同期：平均在院日数12.0日、病床稼働率71.5%）</p> <p><b>【研究部門】</b></p> <p>令和4年4月：「身体活動・多様な食品摂取・社会交流：3つがそろると介護予防効果は顕著に高まる」をプレス発表</p> <p>令和4年6月：「ミトコンドリア機能異常は複製老化のトリガーではない」をプレス発表</p> <p>令和4年7月：「骨格筋の機能維持には性別に関係なくビタミンCが不可欠」をプレス発表</p> <p>その他6件をプレス発表</p>	

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">今後の見通し</p>	<p>高齢者のための高度専門医療及び研究を行い、都における高齢者医療並びに研究拠点としての役割を引き続き果たしていく。また、病院部門、研究部門、経営部門の連携を一層強め、第三期中期計画及び年度計画に基づき、着実に事業を実施する。さらに、新型コロナウイルス感染症への対応を適切に行っていく。</p> <p>病院部門では職種の枠を超えたチーム医療の推進、医療連携の一層の強化に努め、地域全体で継続的な一貫性のある医療を目指していく。</p> <p>研究部門は高齢者の健康維持や老化・老年学の予防法・診断法の開発等に関して、老化のメカニズムや老化制御等の基礎的研究を実施するとともに、高齢者の健康長寿と福祉に関して、疫学研究や社会調査等による社会科学研究を実施する。</p> <p>また、認知症未来社会創造センター、フレイル予防センターの2つの組織を運営し、医療と研究が一体となり、一層の社会貢献に向けて取り組むとともに、スマートウォッチ等のデジタル機器を用いた健康づくりに向けた研究プロジェクトを進めていく。</p>		
<p>問い合わせ先</p>	<p>地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター          経営企画局 事務部 経営企画課</p>	<p>電話</p>	<p>03(3964)1141</p>